
ダブリュード 閑話?

マオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ダブリユード 閑話？

【Nコード】

N8249I

【作者名】

マオ

【あらすじ】

相変わらず、極悪非道のオウマノリイリーと、ちやくちやくと不幸道を歩いていくサレイの日常です。なんで一緒に行動しているのあなたたち？（笑）

可愛い少女がたくましい青年と一緒に小物店の店先を覗いている。

いかつい店主は正直に思った。

野郎、こんな綺麗な女の子を恋人にできるなんて羨ましい。こんな畜生。石に蹴つまづいて死んじまえ。

金髪美少女と仲良さそうに歩いている男なぞ、呪っても呪いきれない。

「わー、この指輪可愛い」

「いや、それ呪いの指輪っぽくないか？」

「にーちゃんがこんなの持ってた。買お」

「買うのかっ!？」

「にーちゃんにおみやげ。きっと喜ぶ」

「……お前の兄ちゃんって……」

「あ、こっちの髪飾りも可愛いなあ。ねーちゃんと姪っ子のおみやげにしよう」

「姪っ子!? お前その年で姪がいるのかっ!？」

「いる。甥っ子もいる。ねーちゃんの子供、双子だから。お、こっちの腕輪はデザインがかっこいい。よし、こっちをにーちゃんと甥っ子にやろう。あ、こっちの首飾りにーちゃんの嫁さんにいいなあ」

小物を楽しそうに眺めている少女は本当に可愛らしい。くそ、横の男邪魔だ。もっと可愛い女の子の顔見せろ。ああ、楽しそうだ。何を話しているのだろう。この指輪買って、ああ、いいよ。君のためならなんでも買ってあげよう、とか浮かれた内容なんだろう、どうせ。畜生、付き合い始めたばかりか。それとも何か、新婚か。幼な妻か。羨ましすぎる。

「うん、これとこれとこれとこれでいいかな。後は実家に送ってもらえるように運送頼まないとなー」

「……………つかぬ事をお伺いしますが、リイリーさん」

「あん？」

「代金自分で払うんだろうな？」

「……………あ、こっちの可愛いなあ」

「聞けよおい」

「財布が何か喋ってるなあ。うるさい。捨てようかなー」

「財布扱いかよっ!？」

「財布としても役に立たないなら捨てるしかないよなー。な？」

ああっ、あんなに輝くような笑顔で横の男を見るなんてっ。そんなにその男が好きなのかつ。

くそー、くそー、あの男、今この瞬間に空から岩が降ってきて潰される。

「…………俺、そんなに金ないぞ」

「ないわけないよな。この間襲ってきた盗賊叩きのめしたときの報奨金あるだろ。俺の代わりに受け取ってたよな？」

「あれはお前がいらないって言ったからだろっ!？」

「当たり前だろ。こんな可愛い女の子が一人で盗賊をぶつとばしたなんて言えるか。大体信じてもらえん。だからお前に行かせたんだってーの。あれは俺の金だぞ。お前何もしてなかったじゃん」

「あ、あれはっ…………お前がいきなり俺をど突き倒したからだろ!？」
「当然だ。すげー邪魔だった。俺が剣を振ろうとしたところに飛び込んでくるなんてアホか。蹴りの一つくらい入れたくもなるっつの」

天使のような笑顔とはこのことか…………。

あの娘のためなら死んでもいい。彼女をかばって傷を負って「いや！ 死なないで！ あなたがいないと私……ッ！」とか言わせない。言って欲しい。彼女からそんなセリフが聞けたら死んでもいい本気で。

「次またあんな真似したら容赦なく斬るからなグズ」

「情け容赦なしかよ……」

「お前に情けをかける暇があつたら他の馬鹿男ひっかける」

「……駄目だ……俺がこいつから離れたら本当に駄目だ……世の中の男がどれだけ犠牲になるか分からん……」

「そこでぶつぶつ言ってる財布。とつとこれ買つて来い」

「……………耐えろ、俺」

男が品物を持ってきたので会計をしてやる。包装を頼まれた。くそう、やっぱりプレゼントか、プレゼントなのか。少女は嬉しそうに店先で待っている。男が金を払うらしいので、割り増しにしてやろうかと思った。笑顔の裏に嫉妬を隠し、会計を終わらせて出て行く男の背ではなく、待っている笑顔の少女を見る。

ああ、可愛い。そんな男ではなくておじさんに笑いかけてくれな
いか。

……無理だな、うん。

「お買い上げありがとうございます」

声をかけたら、少女はこちらを見て笑顔で手を振ってくれた。うん、もうそれだけでいいかな。

とりあえず、男のほうはもう一回くらい呪っておこう。転んで死ね

（後書き）

続編が進まないのもまた閑話。知らないところで恨みを買ひ、呪われているサレイにどうか同情を（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8249i/>

ダブリュード 閑話？

2010年10月10日21時17分発行